

月刊しばうら

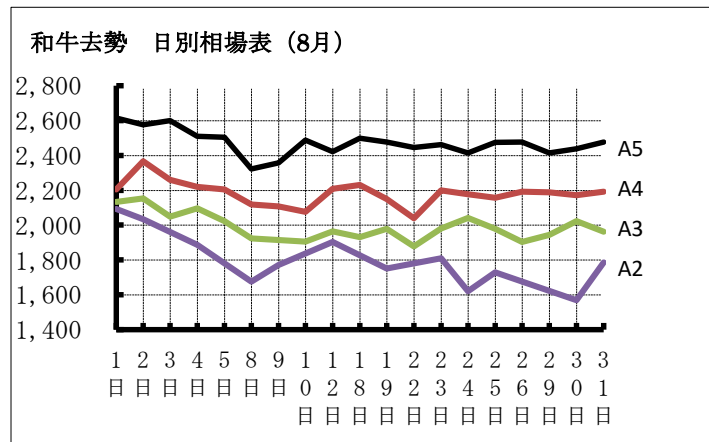
2022年9月号

牛肉営業部

<8月の相場動向>

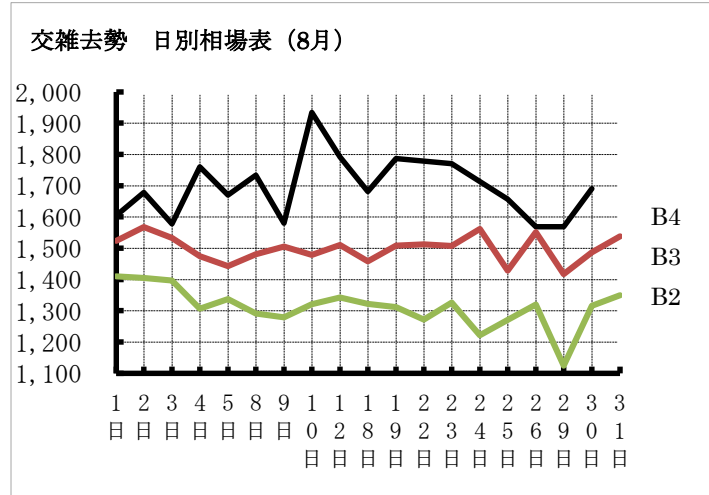
新型コロナウイルスの新規感染者数は20万人規模で推移しており、政府、自治体による行動制限措置は執られていないものの、外食需要は低迷している。また、ロシアによるウクライナ侵攻、円安の影響を受け、食品、原油価格が高騰し、生活費等の増高から消費意欲の減退に拍車をかけ、牛肉需要は引き続き厳しい状況にある。

旧盆に伴う消費の盛り上がりは見られず、盆明けの手当買いも限定的で、盆直前に下落した相場が続いた。



和牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
A5	2,483円	-104円	96.0%
A4	2,192円	-55円	97.6%
A3	2,004円	11円	100.6%
A2	1,806円	109円	106.4%



交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
B4	1,702円	-47円	97.3%
B3	1,496円	-88円	94.4%
B2	1,314円	-84円	94.0%

乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比	前月比
B3	上場なし	-	-
B2	908円	98円	112.1%

<8・9月の牛肉輸入量予測>

財務相が発表した輸入通関実績によると、7月の輸入量は前年同月比0.1%減の5万2,023tで、うちチルドは21.8%減の1万9,534t、フローズンは前年同月比19.9%増の3万2,489tとなった。

フローズンの大幅増の要因は、米国西海岸における港湾の労使交渉に備え、国内卸業者が在庫を増やしたことによる。

農畜産業振興機構によると8月は6.1%減の5万500t、9月は5.1%減の4万8,000tと予測している。

輸入牛肉通関量		7月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,500	8,198	91.5%
	米国	9,943	14,038	70.8%
	その他	2,091	2,734	76.5%
	合計	19,534	24,970	78.2%
フローズン	豪州	13,182	11,278	116.9%
	米国	8,786	7,478	117.5%
	その他	10,521	8,332	126.3%
	合計	32,489	27,088	119.9%

出典：食肉速報

単位：t

<9月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による9月の出荷予測頭数は、全体で前年比104.6%の8万9,500頭で、品種別にみると和牛は0.8%増の3万8,100頭、交雑種は15.0%増の2万1,200頭、乳用種は2.8%増の2万8,600頭と予測している。

東京食肉市場の9月のと畜頭数は7,100頭を予定しています。

<9月の牛枝肉相場見通し>

新型コロナウイルスの新規感染者数は高い数値のまま推移しており、今後しばらくは継続するものと思われる。また、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の長期化を受け、食品、原油価格等が相次いで高騰し、国内の消費マインドは冷めた状況が続くと予想され、牛肉需要を取り巻く環境は厳しい状況が継続する見込みである。

和牛については、冷凍保管事業や輸出需要等により下支えされた価格展開が継続された。しかし、7月の輸出実績は前年度割れをし、また冷凍保管事業はその効果が薄れてきている。中旬までは現在の相場展開が継続し、下旬以降はスライス商材への棚替えが本格化する時期となるため、やや持ち直すことが期待できる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,500～2,800	B4	1,650～1,850
A4	2,250～2,450	B3	1,450～1,600
A3	2,100～2,200	B2	1,300～1,400
A2	1,950～2,050		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,150		
B2	1,000～1,050		

豚肉営業部

7月の全国と畜頭数は、前年同月比4.7%減の125万1,352頭。また、7月の豚肉通関数量は8万3,105t（前年同月比11.3%増）と前年を上回った一方、前月比は7.0%の減少となった。

内訳はチルドが3万899t（同12.8%減）と減少した一方、フローズンは5万2,205t（同32.9%増）と大幅に増加した。

2021-2022年の需給量と推定期末在庫		単位：トン、%		
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物
7	71,419	74,607	23,926	160,643
8	71,268	78,140	22,888	165,573
9	75,182	74,211	21,928	165,491
10	76,972	77,876	21,359	161,448
11	82,305	78,461	21,604	154,751
12	82,143	74,466	22,912	145,676
1	79,561	82,518	23,226	154,046
2	73,703	71,813	23,161	156,035
3	83,139	71,938	24,001	156,094
4	76,226	108,81	22,232	169,980
5	72,433	77,418	22,442	176,959
6	73,206	89,288	21,153	192,277
7	67,448	83,013	21,249	200,051
比	95%	111%	89%	125%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

7月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	14,612	78.4%	デンマーク	5,067	89.4%
カナダ	14,071	93.2%	スペイン	20,871	186.8%
メキシコ	2,214	131.9%	メキシコ	8,299	105.4%
			アメリカ	4,836	181.1%
			カナダ	3,993	138.5%
合計	30,899	87.2%		52,205	132.9%

単位：t

<8月の豚取引の推移>

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	60,700	578	557	547
2日	60,000	583	580	787
3日	53,500	643	641	546
4日	61,000	690	692	568
5日	57,800	695	696	873
8日	62,900	702	702	599
9日	64,100	731	721	972
平均	60,000/日			699/日

8月に入り、旧盆商戦へ向けた手当によって、相場は上昇傾向となった。上物中物の格差がなく、一時は中物価格が上物価格を上回る展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	62,000	621	609	879
12日	38,200	647	642	768
13日		664	649	775
18日	62,600	660	644	862
19日	62,200	627	617	926
22日	63,100	656	645	615
23日	62,100	654	639	815
平均	58,367/日			806/日

全国的に新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、3年ぶりに行動制限のない盆休みとなったことで、地方での荷動きはそれなりに見られた。

盆明けは補充買いに加え、出荷頭数が少なかったことで相場は底堅く推移した。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
24日	60,700	650	638	658
25日	62,900	617	592	720
26日	56,600	596	588	1,021
29日	61,800	615	603	746
30日	61,200	639	623	887
31日	58,600	658	631	595
平均	60,300/日			771/日

全国と畜頭数は6万頭台前半が続き、猛暑による生育への影響がみられた。

盆休み以降、枝肉相場は底堅い展開となり、一時的に上物相場は600円を割ったが、その後は600円を大幅に上回る展開となった。

末端消費は落ち着いたが、学校給食再開に向けた手当による引き合いがみられた。

<9月豚枝肉相場見通し>

農林水産省による9月の肉豚出荷予測頭数では134万4,000頭（前年同月比96.7%）と予想している。

当市場の9月集荷予定せり頭数は1万5,500頭、1日あたりでは775頭を見込んでいる。

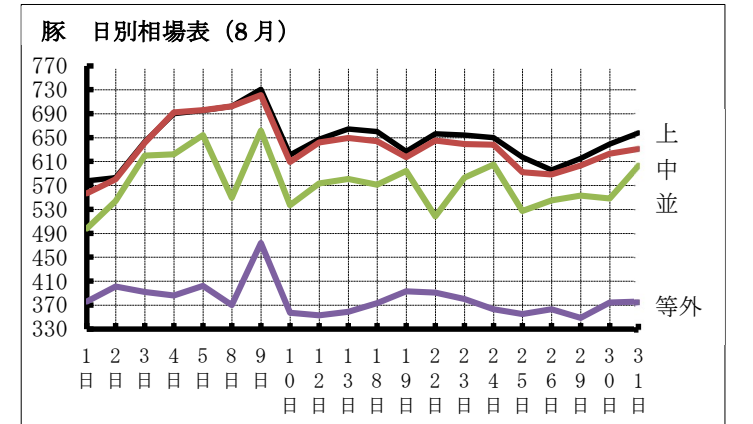
農畜産業振興機構によると9月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万9,100t（前年同月比106.6%）、内訳は冷蔵輸入量が3万2,100t（同90.6%）、冷凍輸入量は4万7,000t（同121.2%）と予測。

冷蔵品輸入量は、北米における現地価格の高騰、為替相場の変動等から前年同月を下回ると予測する。また、3ヵ月平均も前年同期をやや下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、買付価格等において優位なスペイン産の輸入量が引続き多いことが見込まれるため、前年同月を大幅に上回ると予測する。また、3ヵ月平均も前年同期を大幅に上回ると予測する。

9月は学校給食が再開し、またシルバーウィークによる三連休が2回控えるため、外食需要を含め、上旬から下旬にかけてある程度の需要の伸びが期待される。しかし、連休以降は例年通り秋口からの出荷頭数増加に伴い、相場がジリ下げ展開となることが予想される。

以上から、当市場の上物平均価格は600円前後、中物平均価格は580円前後の展開と予想する。



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127